

堺市ブラックリスト2015（動物）

カテゴリー	分類	目名	科名	種類名	学名	外来生物法	備考
重点対策種	哺乳類	ネズミ目	ヌートリア科	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	特定	農業被害や、巣穴による堤防の強度低下などが引き起こされる。堺市では、臨海部の一部で近年確認された。侵入初期であることから、これ以上、分布が広がらないよう対策が必要である。
重点対策種	哺乳類	ネコ目	アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	特定	さまざまな在来小動物を食べるため、生態系に影響を及ぼすおそれがある。このほか、農業被害や、民家の屋根裏などにすみつき、建造物を傷つけるなどの被害も出ている。餌を与えるなどは慎むべきである。
重点対策種	哺乳類	ネコ目	イタチ科	チョウセンイタチ	<i>Mustela sibirica coreana</i>		堺市でもイタチ類の記録は多いものの、近年の記録はチョウセンイタチが多く、在来種のニホンイタチは、チョウセンイタチとの競合により、その分布をかなり狭められていると考えられる。全国的に定着が進んでおり、根絶は困難であるが、生物多様性保全上重要な地域への侵入・定着を防止するなどの対策が必要である。
重点対策種	爬虫類	カメ目	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	要注意	在来のカメやその他の水生動物などに大きな影響を与える。ミドリガメという名前でペットとして販売されており、これが野外に放されたため、堺市でもすでに全域に広がっている。ペットとして飼育しているものや野外で採ったものを安易に放してはならない。
重点対策種	両生類	無尾目	アカガエル科	ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	特定	繁殖力が強く、貪欲で、様々な小動物を捕食するため、希少な在来種の捕食や在来のカエル類との餌資源をめぐる競合など、河川やため池の生態系に大きな影響を及ぼす。野外で採ったものを安易に放してはならない。
重点対策種	淡水魚類	カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>	特定	世界各地で在来魚への影響が問題視されており、他の小型魚との競合や、稚魚の捕食による在来魚の減少といった生態系への影響がある。ペットとして飼育しているものや野外で採ったものを安易に放してはならない。
重点対策種	淡水魚類	スズキ目	サンフィッシュ科	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>	特定	魚類や水生昆虫、水草などをエサとする。卵や仔魚を雄が保護するため繁殖力は強く、短期的に個体数を増やすことができ、爆発的に数を増やすことから、生態系に大きな影響を及ぼす。捕まえても別の場所へ放流してはならない。
重点対策種	淡水魚類	スズキ目	サンフィッシュ科	オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>	特定	他の魚類をはじめ、エビ類や水生昆虫などさまざまな動物を食べる。本種の侵入後、在来種の種数や個体数が減ってしまった池や湖もあり、生態系に非常に大きな影響を及ぼす。捕まえても別の場所へ放流してはならない。
重点対策種	陸産貝類・淡水産貝類	原始紐舌目	リングガイ科	スクミリングガイ	<i>Pomacea canaliculata</i>	要注意	雑食性で食べる量が多いので、競合などにより、在来の巻貝を含む水生生物群集に影響を与える可能性がある。また、水稲の食害など、農業被害も問題となっている。野外で採ったものを安易に放してはならない。
重点対策種	陸産貝類・淡水産貝類	マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea fluminea</i>	要注意	タイワンシジミは、繁殖力が旺盛で、マシジミの分布域のうち関東以西の各地では猛烈なスピードでタイワンシジミ類に置き換わっている。堺市では侵入初期であり、堺市域のマシジミへの影響が懸念される。野外で採ったものを安易に放してはならない。
重点対策種	昆虫類・クモ類	クモ目	ヒメグモ科	セアカゴケグモ	<i>Latrodectus hasselti</i>	特定	毒グモで攻撃性はないが、不用意に触れると咬まれるおそれがある。咬まれると激しい痛み、発熱、吐き気、痒みなどの症状がある。堺市では全ての区で確認され、すでに全域に分布が広がっている。素手でつかんだり、さわってはならない。
重点対策種	淡水甲殻類	エビ目	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	要注意	さまざまな小動物を捕食し、水生植物を切断して群落を壊滅させるなど、生態系に大きな影響を及ぼす。特に希少な水草や水生昆虫への影響が懸念されている。ペットとして飼育しているものや野外で採ったものを安易に放してはならない。
要注意種	哺乳類	ネズミ目	ネズミ科	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>		
要注意種	哺乳類	ネズミ目	ネズミ科	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>		
要注意種	哺乳類	ネズミ目	ネズミ科	トブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>		
要注意種	鳥類	カモ目	カモ科	コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>		
要注意種	鳥類	チドリ目	セイタカシギ科	クロエリセイタカシギ	<i>Himantopus mexicanus</i>	要注意	
要注意種	鳥類	キジ目	キジ科	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>		
要注意種	鳥類	ハト目	ハト科	カワラバト	<i>Columba livia</i>		
要注意種	鳥類	スズメ目	カエデチョウ科	ベニスズメ	<i>Amandava amandava</i>		
要注意種	鳥類	カモ目	カモ科	アイガモ・アヒル	<i>Anas platyrhynchos var. domestica</i>		
要注意種	淡水魚類	レピソステウス目	レピソステウス科	アリゲーターガー	<i>Atractosteus spatula</i>		
要注意種	淡水魚類	コイ目	コイ科	コイ(外来型)	<i>Cyprinus carpio</i>		
要注意種	淡水魚類	コイ目	コイ科	タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	要注意	
要注意種	淡水魚類	カダヤシ目	カダヤシ科	グッピー	<i>Poecilia reticulata</i>	要注意	
要注意種	淡水魚類	タウナギ目	タウナギ科	タウナギ	<i>Monopterus albus</i>		
要注意種	淡水魚類	スズキ目	タイワンドジョウ科	カムルチー	<i>Channa argus</i>	要注意	
要注意種	昆虫類・クモ類	クモ目	ウシオグモ科	クロガケジグモ	<i>Badumna insignis</i>		
要注意種	昆虫類・クモ類	ゴキブリ目	ゴキブリ科	コウモンゴキブリ	<i>Periplaneta australasiae</i>		
要注意種	昆虫類・クモ類	ゴキブリ目	ゴキブリ科	クロゴキブリ	<i>Periplaneta fuliginosa</i>		
要注意種	昆虫類・クモ類	シロアリ目	ミゾガシラシロアリ科	イエシロアリ	<i>Coptotermes formosanus</i>		
要注意種	昆虫類・クモ類	ハッタ目	オンブハッタ科	アカハネオンブハッタ	<i>Atractomorpha sinensis sinensis</i>		
要注意種	昆虫類・クモ類	カメムシ目	マルカイガラムシ科	ヤブネカイガラムシ	<i>Unaspis yanonensis</i>		
要注意種	昆虫類・クモ類	チョウ目	イラガ科	ヒロヘリアオイラガ	<i>Parasa lepida lepida</i>		
要注意種	昆虫類・クモ類	チョウ目	ヒトリガ科	アメリカシロヒトリ	<i>Hyphantria cunea</i>		
要注意種	昆虫類・クモ類	コウチュウ目	ゾウムシ科	アルファルファタコゾウムシ	<i>Hypera postica</i>		
要注意種	昆虫類・クモ類	チョウ目	カレハガ科	ムラクモカレハ	<i>Lebeda nobilis</i>		
要注意種	陸産貝類・淡水産貝類	柄眼目	オカチョウジガイ科	オオクビキレガイ	<i>Rumina decollata</i>		
要侵入警戒種	哺乳類	ネズミ目	リス科	タイワンリス	<i>Callosciurus erythraeus</i>	特定	

堺市ブラックリスト2015（動物）

カテゴリー	分類	目名	科名	種類名	学名	外来生物法	備考
要侵入警戒種	鳥類	スズメ目	チメドリ科	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>	特定	
要侵入警戒種	鳥類	スズメ目	カエデチョウ科	コシジロキンバラ	<i>Lonchura striata</i>		
要侵入警戒種	爬虫類	カメ目	カミツキガメ科	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>	特定	
要侵入警戒種	爬虫類	カメ目	カミツキガメ科	ワニガメ	<i>Macrochelys temminckii</i>	要注意	
要侵入警戒種	淡水魚類	コイ目	ドジョウ科	カラドジョウ	<i>Paramisgurnus dabryanus</i>	要注意	
要侵入警戒種	淡水魚類	スズキ目	スズキ科	タイリクスズキ	<i>Lateolabrax sp.</i>		
要侵入警戒種	淡水魚類	スズキ目	サンフィッシュ科	コクチバス	<i>Micropterus dolomieu</i>	特定	
要侵入警戒種	淡水魚類	スズキ目	カワスズメ科	ナイルティラピア	<i>Oreochromis niloticus</i>	要注意	
要侵入警戒種	昆虫類・クモ類	クモ目	ヒメグモ科	ハイロゴケグモ	<i>Latrodectus geometricus</i>	特定	
要侵入警戒種	昆虫類・クモ類	ハチ目	アリ科	アルゼンチンアリ	<i>Linepithema humile</i>	特定	
要侵入警戒種	昆虫類・クモ類	ハチ目	ミツバチ科	セイヨウオオマルハナバチ	<i>Bombus terrestris</i>	特定	
要侵入警戒種	陸産貝類・淡水産貝類	柄眼目	エスカルゴ(マイマイ)科	ヒメリンゴマイマイ	<i>Helix aspersa</i>		
要侵入警戒種	陸産貝類・淡水産貝類	イガイ目	イガイ科	カフヒバリガイ	<i>Limnoperna fortunei</i>	特定	

堺市ブラックリスト2015 (植物) 堺市ブラックリスト2015 (植物)

カテゴリー	分類	分類1	分類2	種類名	学名	外来生物法	備考
重点対策種	維管束植物	シダ植物	アカウキクサ科	外来アカウキクサ属 (外来アゾラ類)	<i>Azolla</i> spp.	特定*	在来種のアカウキクサ属に対する競合・駆逐の影響が危惧される。また、水面を完全に覆って、拡散先の植生に深刻な影響を与える。在来の絶滅危惧種との競合の可能性があるので、持ち込んでほしくない。 堺市で正式に記録があるのはアイオオアカウキクサだけである。 なお、外来生物法で特定外来生物に指定されているのは、アゾラ・クリスタータのみである。
重点対策種	維管束植物	離弁花類	マメ科	ハリエンジュ (ニセアカシア)	<i>Robinia pseudoacacia</i>	要注意	法面等の緑化に使用されるが、しばしば純群落を形成し、他の植物の生育に大きな影響を与える。生物多様性の保全上重要な地域に侵入するおそれのある地域では利用を避けることが望ましい。
重点対策種	維管束植物	離弁花類	ウリ科	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	特定	つる性の1年生草本で、しばしば河川敷などに大群落を形成し、他の植物を覆い尽くして繁茂する。大きくなる前に抜き取ることが必要である。
重点対策種	維管束植物	離弁花類	アリノトウグサ科	オオフサモ	<i>Myriophyllum brasiliense</i>	特定	在来のフサモ類と異なり水上茎がよく発達し、密集した群落を形成して水面をおおい、他の水草の生育を妨げる。観賞用の水草として導入されたが、特定外来生物に指定されており、利用は規制されている。
重点対策種	維管束植物	合弁花類	クマツヅラ科	シチヘンゲ (ランタナ)	<i>Lantana camara</i>	要注意	園芸植物として広く植栽され、世界の侵略的外来種ワースト100にも選定されている。在来種との競合が懸念される。きれいだからと言って安易に植えてはならない。
重点対策種	維管束植物	合弁花類	ゴマノハグサ科	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i>	特定	在来種のカワヂシャに似ており、雑種を形成することが知られている。比較的自然度の高い低湿地的環境に侵入することから、生物多様性への影響が懸念される。大きくなる前に抜き取ることが必要である。
重点対策種	維管束植物	合弁花類	キク科	アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i>	要注意	鋭い刺を持ち、北海道の牧草地などでは非常にやっかいな強害雑草になっている。侵入初期であることから、対策を講じれば拡散を防ぐことができる。大きくなる前に抜き取ることが必要である。
重点対策種	維管束植物	合弁花類	キク科	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>	特定	オレンジ色の美しい花をつけるが、繁殖力が強く、河原などで他の植物の生育場所を奪う。ワイルドフラワー緑化などに使用されていたが、特定外来生物に指定されており、利用は規制されている。きれいだからと言って植えてはならない。
重点対策種	維管束植物	合弁花類	キク科	ナルトサワギク	<i>Senecio madagascariensis</i>	特定	侵入して間もないにもかかわらず、急速に分布を拡大しており、在来種と競合するおそれがある。きれいだからと言って植えてはならない。
重点対策種	維管束植物	単子葉植物	イネ科	カモガヤ (オーチャードグラス)	<i>Dactylis glomerata</i>	要注意	牧草として導入された植物で全国的に最も普通に見られる帰化植物の一つである。花粉アレルギーの原因植物となる。刈り取りはできるだけ実ができる前に行うことが大切である。
要注意種	維管束植物	離弁花類	タデ科	ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i>		
要注意種	維管束植物	離弁花類	タデ科	エソノギシギシ (ヒロハギシギシ)	<i>Rumex obtusifolius</i>	要注意	
要注意種	維管束植物	離弁花類	ヒユ科	ハリビユ	<i>Amaranthus spinosus</i>	要注意	
要注意種	維管束植物	離弁花類	マメ科	イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i>	要注意	
要注意種	維管束植物	離弁花類	マメ科	ナヨクサフジ (スムーズベッチ)	<i>Vicia dasycarpa</i> var. <i>glabrescens</i>		
要注意種	維管束植物	合弁花類	モクセイ科	トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>	要注意	
要注意種	維管束植物	合弁花類	ナス科	チョウセンアサガオ属	<i>Datura</i> spp.	要注意	堺市で正式に記録があるのはチョウセンアサガオ、ケチョウセンアサガオ、ヨウシュチョウセンアサガオの3種である。
要注意種	維管束植物	合弁花類	ナス科	ワルナスビ	<i>Solanum carolinense</i>	要注意	
要注意種	維管束植物	合弁花類	キク科	ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i> var.	要注意	
要注意種	維管束植物	合弁花類	キク科	オオブタクサ (クワモドキ)	<i>Ambrosia trifida</i>	要注意	
要注意種	維管束植物	合弁花類	キク科	メリケンキンソウ	<i>Soliva sessilis</i>		
要注意種	維管束植物	単子葉植物	トチカガミ科	オオカナダモ (アナカリス)	<i>Egeria densa</i>	要注意	
要注意種	維管束植物	単子葉植物	トチカガミ科	コカナダモ	<i>Elodea nuttallii</i>	要注意	
要注意種	維管束植物	単子葉植物	ミズアオイ科	ホテイアオイ (ウォーターヒヤシンス)	<i>Eichhornia crassipes</i>	要注意	
要注意種	維管束植物	単子葉植物	アヤメ科	キシヨウフ	<i>Iris pseudacorus</i>	要注意	
要注意種	維管束植物	単子葉植物	イネ科	シナダレスズメガヤ (ウィーピンググラス)	<i>Eragrostis curvula</i>	要注意	
要注意種	維管束植物	単子葉植物	イネ科	オニウシノケクサ (トールフェスク)	<i>Festuca arundinacea</i>	要注意	
要注意種	維管束植物	単子葉植物	イネ科	ドクムギ属 (ライグラス類)	<i>Lolium</i> spp.	要注意*	堺市で正式に記録があるのはネズミムギとホソムギ、ドクムギ、ネズミムギとホソムギの雑種であるネズミホソムギ、ネズミムギの品種であるエダウチネズミムギ、およびボウムギである。なお、要注意外来生物リストの掲載種は、ネズミムギ、ホソムギである。
要注意種	維管束植物	単子葉植物	イネ科	タチスズメノヒエ (ハイジーグラス)	<i>Paspalum urvillei</i>		
要注意種	維管束植物	単子葉植物	イネ科	セイバンモロコシ (ジョンソングラス)	<i>Sorghum halepense</i>		

堺市ブラックリスト2015（動物）

カテゴリー	分類	種類名	学名	法律等				生態系被害			人への健康被害	農林業等への経済産業被害
				①外来法	②W100	③GISD	④各県	競合	交雑	捕食摂食		
重点対策種	哺乳類	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	特定	日本、IUCN	○	滋賀、兵庫、京都、鳥取、徳島、佐賀					◎
重点対策種	哺乳類	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	特定	日本		北海道、青森、千葉、滋賀、京都、兵庫、鳥取、徳島、佐賀、鹿児島	○		◎	○	◎
重点対策種	哺乳類	チョウセンイタチ	<i>Mustela sibirica coreana</i>		日本		滋賀、京都、兵庫、鳥取、愛媛、熊本、鹿児島	○	○	○		○
重点対策種	爬虫類	ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	要注意	日本、IUCN	○	北海道、青森、千葉、愛知、滋賀、京都、兵庫、鳥取、佐賀、宮崎、熊本、沖縄	○		○		○
重点対策種	両生類	ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	特定	日本、IUCN	○	北海道、青森、千葉、滋賀、京都、兵庫、鳥取、宮崎、熊本、沖縄	○		◎		
重点対策種	淡水魚類	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>	特定	日本、IUCN	○	滋賀、京都、佐賀、熊本			◎		
重点対策種	淡水魚類	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>	特定	日本		北海道、青森、千葉、滋賀、京都、兵庫、鳥取、佐賀、熊本	◎		◎		
重点対策種	淡水魚類	オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>	特定	日本、IUCN	○	青森、千葉、滋賀、京都、兵庫、鳥取、佐賀、熊本	◎		◎		
重点対策種	陸産貝類・淡水産貝類	スクミリンゴガイ	<i>Pomacea canaliculata</i>	要注意	日本、IUCN	○	北海道、千葉、愛知、滋賀、京都、兵庫、鳥取、徳島、熊本、鹿児島	○				◎
重点対策種	陸産貝類・淡水産貝類	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea fluminea</i>	要注意		○	千葉、京都、兵庫、徳島、愛媛	◎				○
重点対策種	昆虫類・クモ類	セアカゴケグモ	<i>Latrodectus hasselti</i>	特定	日本					○	◎	
重点対策種	淡水甲殻類	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	要注意	日本	○	北海道、青森、千葉、滋賀、京都、兵庫、鳥取、徳島、鹿児島、沖縄			◎		
要注意種	哺乳類	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>		IUCN	○	北海道、千葉、京都、兵庫、鳥取、沖縄					◎
要注意種	哺乳類	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>		IUCN	○	北海道、千葉、京都、兵庫、鳥取、鹿児島、沖縄			◎		◎
要注意種	哺乳類	ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>			○	北海道、千葉、京都、兵庫、鳥取、鹿児島			◎		◎
要注意種	鳥類	コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>			○	北海道、青森、千葉、愛知、京都、鳥取	○				
要注意種	鳥類	クロエリセイタカシギ	<i>Himantopus mexicanus</i>	要注意			京都		◎			
要注意種	鳥類	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>				北海道、千葉、京都、鳥取、熊本	○				
要注意種	鳥類	カワラバト	<i>Columba livia</i>		日本	○	北海道、青森、千葉、京都、兵庫、鳥取、熊本				○	○
要注意種	鳥類	ベニスズメ	<i>Amandava amandava</i>				京都、鹿児島（国分千拓、永田川）					○
要注意種	鳥類	アイガモ・アヒル	<i>Anas platyrhynchos</i> var. <i>domesticus</i>				北海道、兵庫					
要注意種	淡水魚類	アリゲーターガー	<i>Atractosteus spatula</i>				滋賀、佐賀			○		
要注意種	淡水魚類	コイ(外来型)	<i>Cyprinus carpio</i>		IUCN	○	北海道	○	○	○		
要注意種	淡水魚類	タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	要注意	日本		青森、千葉、滋賀、京都、鳥取、愛媛、佐賀、熊本	○	◎			
要注意種	淡水魚類	グッピー	<i>Poecilia reticulata</i>	要注意		○	熊本	○				
要注意種	淡水魚類	タウナギ	<i>Monopterus albus</i>			○				○		○
要注意種	淡水魚類	カムルチー	<i>Channa argus</i>	要注意		○	青森、愛媛、熊本			◎		
要注意種	昆虫類・クモ類	クロガケジグモ	<i>Badumna insignis</i>				京都・兵庫・鳥取・熊本					
要注意種	昆虫類・クモ類	コウモンゴキブリ	<i>Periplaneta australasiae</i>				北海道					○
要注意種	昆虫類・クモ類	クロゴキブリ	<i>Periplaneta fuliginosa</i>				北海道、青森、鳥取					○
要注意種	昆虫類・クモ類	イエシロアリ	<i>Coptotermes formosanus</i>		日本、IUCN	○						◎
要注意種	昆虫類・クモ類	アカハネオンブバッタ	<i>Atractomorpha sinensis</i>									
要注意種	昆虫類・クモ類	ヤノネカイガラムシ	<i>Unaspis yanonensis</i>		日本							
要注意種	昆虫類・クモ類	ヒロヘリアオイラガ	<i>Parasa lepida lepida</i>		日本							
要注意種	昆虫類・クモ類	アメリカシロヒトリ	<i>Hyphantria cunea</i>		日本	○	北海道、青森、千葉、滋賀、京都、鳥取、愛媛、			○		
要注意種	昆虫類・クモ類	アルファルファタコゾウム	<i>Hypera postica</i>		日本		千葉、京都、兵庫、愛媛、鳥取、鹿児島、沖縄					
要注意種	昆虫類・クモ類	ムラクモカレハ	<i>Lebeda nobilis</i>									
要注意種	陸産貝類・淡水産貝類	オオクビキレガイ	<i>Rumina decollata</i>				京都、兵庫、熊本					
要侵入警戒種	哺乳類	タイワンリス	<i>Callosciurus erythraeus</i>	特定			滋賀、京都、兵庫、熊本	○		○		◎
要侵入警戒種	鳥類	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>	特定	日本	○	京都、兵庫、鳥取、徳島（剣山山系/阿南市浦生田岬）、熊本、宮崎、鹿児島（霧島・紫尾山周	◎				
要侵入警戒種	鳥類	コシジロキンバラ	<i>Lonchura striata</i>									○
要侵入警戒種	爬虫類	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>	特定	日本		北海道、千葉、京都、兵庫、佐賀、熊本	○		◎	◎	
要侵入警戒種	爬虫類	ワニガメ	<i>Macrochelys temminckii</i>	要注意			愛知、滋賀、京都、兵庫、愛媛、佐賀	○		○	◎	
要侵入警戒種	淡水魚類	カラダジョウ	<i>Paramisgurnus dabryanus</i>	要注意			愛知、愛媛	○	○			
要侵入警戒種	淡水魚類	タイリクスズキ	<i>Lateolabrax sp.</i>	要注意			愛媛	○		○		
要侵入警戒種	淡水魚類	コクチバス	<i>Micropterus dolomieu</i>	特定	日本		滋賀、京都、佐賀	◎		◎		
要侵入警戒種	淡水魚類	ナイルティラピア	<i>Oreochromis niloticus</i>	要注意		○	愛知、熊本	○		◎		
要侵入警戒種	昆虫類・クモ類	ハイイロゴケグモ	<i>Latrodectus geometricus</i>	特定			兵庫・宮崎・沖縄				◎	
要侵入警戒種	昆虫類・クモ類	アルゼンチンアリ	<i>Linepithema humile</i>	特定	日本、IUCN	○	兵庫、徳島	◎		◎		◎
要侵入警戒種	昆虫類・クモ類	セイヨウオオマルハナバチ	<i>Bombus terrestris</i>	特定	日本		北海道、青森、千葉、滋賀、京都、兵庫、熊本	◎				
要侵入警戒種	陸産貝類・淡水産貝類	ヒメリンゴマイマイ	<i>Helix aspersa</i>			○						○
要侵入警戒種	陸産貝類・淡水産貝類	カワヒバリガイ	<i>Limnoperna fortunei</i>	特定	日本	○	北海道、千葉、滋賀、京都、兵庫					◎

注1) 生態系への被害等の付加情報は「侵略的外来種リスト（仮称）動物の検討対象種リスト（検討作業中案）」（2013）環境省を参照した。

注2) 法律等は以下のとおりである。

①外来法等：外来生物法の特定期外生物および要注意外来生物リストの掲載種。

②W100：IUCNのワースト100または日本の侵略的外来種ワースト100に指定されている種。

③GISD：Global Invasive Species Database 掲載種。

④各県：都道府県の外来種リストに掲載されている種。

注3) 表内の記号は以下のとおりである。

◎：情報があり、その評価基準について「強い」「高い」「大きい」又は「可能性が高い」といえる。

○：情報があり、その評価基準について「ある」又は「可能性がある」といえる。

×：情報があり、その評価基準について「基準を満たさない」「ない」といえる。

堺市ブラックリスト2015 (植物)

カテゴリー	科名	種類名	学名	法律等				生態系被害			人への健康被害	農林業等への経済産業被害
				①外来法	②W100	③GISD	④各県	競争	交雑	捕食摂食		
重点対策種	アカウキクサ科	外来アカウキクサ属 (外来)	<i>Azolla</i> spp.	特定*				◎	◎	○		○
重点対策種	マメ科	ハリエンジュ (ニセアカシア)	<i>Robinia pseudoacacia</i>	要注意	日本	○	北海道、青森、埼玉、兵庫、愛知、鳥取、愛媛、佐賀	◎	×	◎	○	○
重点対策種	ウリ科	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	特定	日本		青森、栃木、埼玉、千葉、京都、兵庫、愛知、広島	◎	×		○	◎
重点対策種	アリノトウグサ科	オオフサモ	<i>Myriophyllum brasiliense</i>	特定	日本	○	栃木、埼玉、千葉、京都、愛知、兵庫、広島、佐賀、宮崎	◎				○
重点対策種	クマツヅラ科	シチヘンゲ (ランタナ)	<i>Lantana camara</i>	要注意	IUCN	○	愛知、愛媛、小笠原、奄美	◎	×	○		○
重点対策種	ゴマノハグサ科	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallisaquatica</i>	特定			栃木、愛知、京都、兵庫、広島、佐賀	◎	◎			
重点対策種	キク科	アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i>	要注意		○	北海道、愛知	◎			○	○
重点対策種	キク科	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>	特定	日本		千葉、兵庫、愛知、鳥取、広島、佐賀	◎	×			
重点対策種	キク科	ナルトサワギク	<i>Senecio madagascariensis</i>	特定			千葉、愛知、兵庫	◎			◎	◎
重点対策種	イネ科	カモカヤ (オーチャードグラス)	<i>Dactylis glomerata</i>	要注意	日本		青森、埼玉、愛知、兵庫、奄美	◎	×		○	○
要注意種	タデ科	ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i>			○		◎		◎	○	○
要注意種	タデ科	エゾノギシギシ (ヒロハギ)	<i>Rumex obtusifolius</i>	要注意		○	青森、愛知、京都	◎	◎			○
要注意種	ヒユ科	ハリビユ	<i>Amaranthus spinosus</i>	要注意			愛知	◎	×		○	○
要注意種	マメ科	イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i>	要注意	日本		青森、埼玉、京都、兵庫、広島、愛知、愛媛、佐賀	◎	×	○		◎
要注意種	マメ科	ナヨクサフジ (スムーズ)	<i>Vicia dasycarpa</i> var.				群馬県	◎		○		
要注意種	モクセイ科	トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>	要注意		○	愛知、兵庫、愛媛	◎				
要注意種	ナス科	チョウセンアサガオ属	<i>Datura</i> spp.	要注意			愛知	◎	×		◎	◎
要注意種	ナス科	ワルナスビ	<i>Solanum carolinense</i>	要注意			埼玉、愛知、京都、鳥取、滋賀	◎			○	◎
要注意種	キク科	ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i> var. <i>elator</i>	要注意			北海道、青森、愛知、京都、鳥取、愛媛	◎	×		○	○
要注意種	キク科	オオブタクサ (クワモドキ)	<i>Ambrosia trifida</i>	要注意	日本		埼玉、千葉、愛知、京都、兵庫、鳥取、広島、滋賀、愛媛、宮崎	◎	×		○	
要注意種	キク科	メリケンキンソウ	<i>Soliva sessilis</i>				千葉、愛知	○	×		○	○
要注意種	トチカガミ科	オオカナダモ (アチカリス)	<i>Egeria densa</i>	要注意	日本		埼玉、愛知、兵庫、鳥取、広島、滋賀、愛媛、佐賀、宮崎	◎	×			○
要注意種	トチカガミ科	コカナダモ	<i>Eloдея nuttallii</i>	要注意	日本		埼玉、愛知、鳥取、広島、滋賀、愛媛、佐賀	◎	×			○
要注意種	ミズアオイ科	ホテイアオイ (ウォーターヒヤシンス)	<i>Eichhornia crassipes</i>	要注意	IUCN、日本	○	千葉、愛知、兵庫、広島、滋賀、愛媛、佐賀、宮崎、奄美	◎	×			○
要注意種	アヤメ科	キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i>	要注意	日本	○	北海道、青森、埼玉、愛知、広島、佐賀	◎	○			
要注意種	イネ科	シナダレスメカヤ (ウィーピングラブグラ)	<i>Eragrostis curvula</i>	要注意	日本		埼玉、愛知、兵庫、広島、愛媛、佐賀、奄美	◎	×	◎		○
要注意種	イネ科	オニウシノケガサ (トールフェスク)	<i>Festuca arundinacea</i>	要注意	日本		青森、栃木、埼玉、愛知、広島、佐賀、奄美	◎			○	
要注意種	イネ科	トクムギ属 (ライグラス類)	<i>Lolium</i> spp.	要注意**			青森、栃木、埼玉、愛知、兵庫、広島、奄美	◎	×		○	○
要注意種	イネ科	タチヌメノヒエ (ペイジーグラス)	<i>Paspalum urvillei</i>			○	広島、宮崎、奄美	○				○
要注意種	イネ科	セイバンモロコシ (ジョンソングラス)	<i>Sorghum halepense</i>				埼玉、広島、群馬*	◎				

注1) 生態系への被害等の付加情報は「侵略的外来種リスト (仮称) 植物の検討対象種リスト (検討作業中案)」(2013) 環境省を参照した。

注2) 法律、表内の記号等は付表1の注2、注3を参照。

注3) * はアソラ・クリスタータのみが該当する。

注4) ** はネズミムギ、ホソムギのみが該当する。